

様式 2

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発 行 者
日 本 文 教 出 版

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	・学年ごとに、生徒の発達の段階をふまえたテーマを設け、該当項目に教材を複数用意するなどの配慮をしている。また、生徒の発達段階に応じて、年間を大きく3つに分け、その時期に学ぶべきテーマを設定し、教材を重点的に配置するなど、内容相互の関連や体系的な指導ができるよう配慮されている。 ・「学習の進め方」を設定し、ロールプレイや話し合いの仕方について、具体的に説明がされている。また、付属の「道徳ノート」には、自分の考えや仲間の考えを書き込む部分が毎回位置付けられており、自分の考えを基に書いたり話したりすることができるとともに、仲間の考え方や感じ方をとらえることができるよう配慮されている。 ・教材のあとに、「考えてみよう」「自分にプラス1」を設置し、登場人物に自我関与したり、自分に置き換えて考えを深められたりできるよう配慮されている。
2 主体的な態度の育成	・現代的な課題については「いのちの大切さ」「働くことの意義」「情報モラル」「伝統・文化」「持続可能な社会」等、様々な教材を全学年で用意し、生徒が問題意識をもって主体的に考えたり、感動を覚えたりすることができるよう配慮されている。 ・「いじめ問題」についても考え議論することができるよう、いじめられた側といじめた側の両面から(多面的・多角的に)考えられるよう教材が用意されているとともに、多様な教材やコラムをユニット化し、年間で複数配置している。 ・道徳ノートには、学期末ごとに保護者記入欄が用意されており、家庭との連携が配慮されている。
3 上記の他、学習指導要領に示された内容や内容の取扱い、評価	・プラットフォーム(コラム欄)を設定し、教材を通して学んだことを自分の姿(生活等)に置き換えて考えたり、感動につなげたりできるよう工夫している。 ・教材と内容項目及び他の各教科等との関連を巻末に一覧表にして載せており、他教科との関連が図られている。 ・道徳ノートには、教材ごとに自分の考えや振り返りを書く欄が設けられているとともに、積み重ね(変容)が分かるような工夫がしてあり、評価に役立つような配慮がされている。
4 「地域社会人」の育成	・ふるさと岐阜の教材としては、2年生で「郡上踊り」(郡上市)が取り上げられ、3年生で「杉原千畝」が取り上げられている。
5 印刷・造本	・文字が鮮明に印刷されていて見やすい。また、文字の大きさ、字間、行間とも適切で読みやすい。また、ユニバーサルデザインフォントを採用しており読みやすい。挿絵も見やすく、写真も効果的である。 ・4つの視点が一目でわかるように、目次や教材を色分けしている。 ・巻頭で、道徳科で学ぶことや学び方等が書かれていて、導入で扱いやすい。 ・教材名と主題名が併記されており、考えたいことが明確になるよう配慮されている。 ・プラットフォーム(コラム欄)が、スモールステップで具体的に書かれており、学習の進め方や考える内容が理解しやすい。 ・本冊、別冊の2冊構成であるが、本冊の背に厚みを持たせることで、巻頭に無理なく別冊が収納でき、携帯、保管への利便性が図られている。
6 総 評	・生徒の発達段階をふまえて、学年ごとにより深く考えさせたい内容をテーマに設定し、それに関する教材を重点的に配置するなど、内容相互の関連や体系的な指導ができるよう、教材の配列が十分に配慮されている。 ・さまざまな現代的な課題に関する教材を用意し、多様な教材やコラムをユニット化し、繰り返し扱えるように教材の配列を工夫している。また、「された側」と「した側」の双方の資料を用意するなど、多面的な見方・考え方ができるように配慮されている。 ・道徳ノートを用意し、生徒の思いや変容が評価しやすいように配慮されている。